



し せん さい がい

自然災害ってなあに？





し ぜんさいがい 自然災害とは

じしん　ふんか　こうずい　しづん　さいがい
地震や火山の噴火、大雨による洪水など、自然の力が引き起こす災害のこと
を「**自然災害**」といいます。

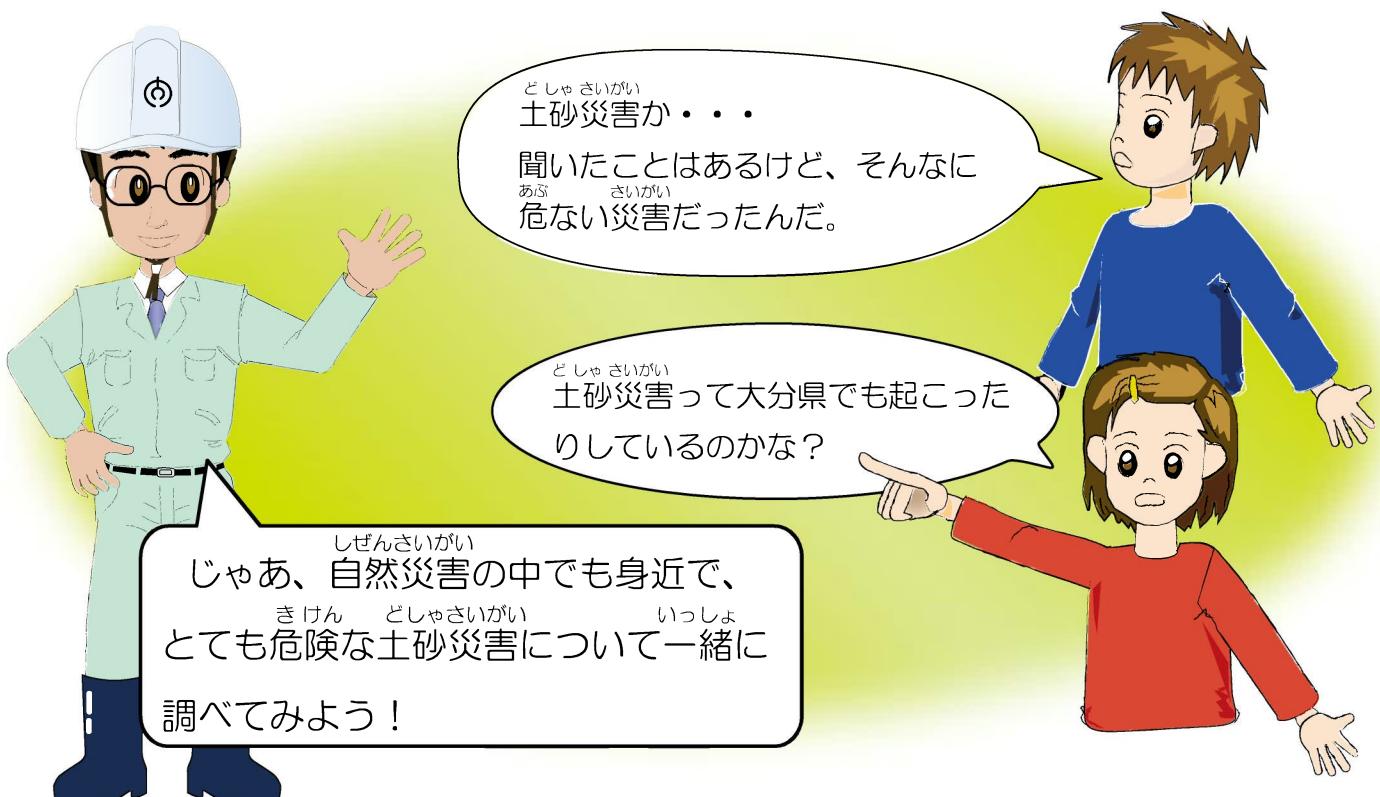
とく　くす　どしゃさいがい
その中でも特に土石流、かけ崩れ、
地すべりの3つは、「**土砂災害**」
といい、毎年多くの死者・行方不明者
が出ています。
ほうどう　どしゃ
テレビ報道などでよく聞く「土砂
崩れ」とは、この3つをさしています。

自然災害による死者・行方不明者のうち、
土砂災害によるものの占める割合が高い



平均（昭和42年～平成19年）
(阪神・淡路大震災における死者・行方不明者数を除く)

どしゃ　すな　どしゃ　くす　くす　どしゃ
土砂とは土や砂のことですが、山の土砂が崩れたり、崩れた土砂が雨水や川
の水とまじったりして、私たちにおそいかかってくるのが土砂災害です。
どしゃさいがい　うしな
日本では毎年のように土砂災害が発生し、多くの命が失われています。





つち みず りょう せい しつ か

土は水の量で性質が変わる

ふだんは固い土も、雨が降るとやわらかくなる

どうして起
こるの？

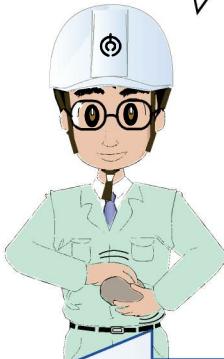
それは、雨が
降るからなん
だよ。

なんで
雨が関係
あるの？

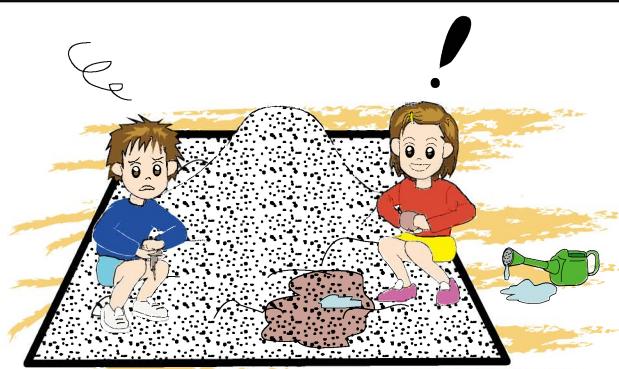
たとえば、砂場の砂をそのままにぎってもダンゴにはならないけど、少し水を加えるとダンゴになるよね。

もっと多くの水を加えると、今度はドロドロになってまたダンゴにはならないよね。

このように、土の性質は水の量によって変わってくるんだよ。



少ない

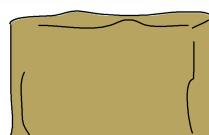


水の量

多い



サラサラして
固まらない



しっかりと
固まっている



ドロドロして
固まらない

たしかに土と水をまぜると
固さが変わってくるなあ・・



うん！

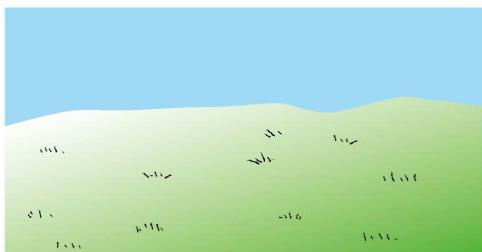


だいち みず ちから 大地をけずる水の力

雨が降ると、土がやわらかくなることによって、私たちが住んでいる大地にもえいきょうがあります。

私たちが住んでいる大地の地形は、下の絵のように変化をしてできました。

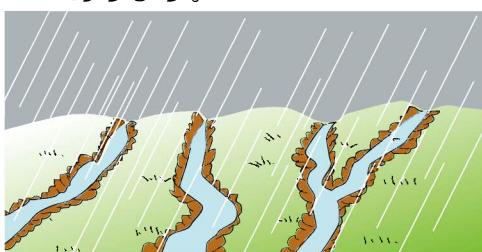
こうした水の力で大地をけずることを「しん食」といいます。



1・始めはならかな地形があります。



2・雨が降ると、低いところに水が集まり始めます。



3・だんだんとまわりをけずって、小さな川になります。



4・さらには、深い谷や高い山ができます。

谷がけずられることで、土砂が流れ出ます。



普段は固い土も、水の力でこんなにけずらてしまうんだ。

水の力が大きいことがよくわかるよね。

一気にけずられすぎて山林がこわされたり、少しづつけずられた土などが川の底にたまったりして、雨水などと一緒に私たちの住む下流まで一気に流されたりします。

このような土砂による被害を少しでもくい止めるために「砂防」という仕事があるんだよ。